

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立南恩加島小

学校

児童数

43

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.53	22.00	34.27	39.36	47.80	9.22	143.00	28.71	55.43
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	18.96	20.46	38.31	34.65	36.77	9.44	126.27	14.04	55.32
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

体力合計点は、男女ともに大阪市・全国平均を上回っている。総合評価は、男子はAが28.6%、Bと合わせると42.9%で、女子はAが16.0%、Bと合わせると36.0%である。全般的に平均を上回る体力であるといえる。男子は「ソフトボール投げ」や「握力」、「上体起こし」が平均を大きく上回っている。女子は「握力」、「上体起こし」、「50m走」が平均を大きく上回っている。一方、男子は「立ち幅跳び」、女子は「反復横とび」「立ち幅跳び」が平均を下回っている。筋パワー・跳躍能力、敏捷性に課題が見られる。

「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的回答をしている男子は86.7%、女子は85.1%で、大阪市・全国平均を上回っている。男子は、80%が最も肯定的回答である「好き」と答えている。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」については、男子は0%、女子は3.9%である。男女ともに大阪市・全国平均を下回っており、運動している時間が平均以上といえる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、運動場が狭く、斜めに50mをとるので精一杯で遊具も十分とは言えない状況である。

90%以上の児童が「体育科の学習が楽しい」、「友達と交流したり、協力したりすることが楽しい」、「体育の学習に進んで参加している」、と回答している。運動量の確保や体を動かすことの楽しさを味わわせることを意識して取り組んできた成果といえる。今後も運動量を確保し、個に応じた指導を工夫することで一人一人が自分に合った目標をもって楽しみながら、仲間と共に取り組んでいけるような体育学習を実践していく。「仲間と共に」を大切に取り組んでいきたい。筋パワーや跳躍能力を高めるために手押し車や縄跳び等を、敏捷性を高めるために、「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」、ジグザクの動き等を取り入れ、様々な基本の運動に継続して取り組んでいく。また、トップアスリート等による出前授業の事業に継続して応募し、スポーツに関わってこられた方々から直接教わることで、体を動かすことの楽しさを感じ、スポーツに親しむ機会を設けていく。

「運動は好きで大切である」と回答している児童が90%前後いる。休み時間や放課後には、ドッジボールやバスケットボールをしている姿がよく見受けられる。学級・学年で集団遊びを行い、仲間と楽しく体を動かす環境づくりをおこなっている。集団遊びには、教師も一緒に活動するようにし、運動が好きでない児童も参加しやすいようにしている。

今後も、運動する場や時間の確保を継続し、様々な運動をすることを通して、体を動かすことが好きな児童を育てていきたい。